嬉野医療センターを受診された患者さまへ

研究情報公開について

通常、臨床研究を実施する際には、文章もしくは口頭で説明・同意を行い実施します。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いた研究については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要です。

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用、または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名	骨折リエゾンサービスにおける薬剤師の関わり
研究責任者（所属名）	野田　愛珠（薬剤部）
本研究の目的	当院では骨折リエゾンサービス(以下、FLS)チームを立ち上げ、他職種連携のもとFLSの活動を行っています。当院ではFLS立ち上げ後、さらなる骨折を防ぐために、2023年5月より大腿骨骨折連携パス(以下、パス)を改定し、活性型ビタミンＤ３製剤の処方をパスに組み込みました。担当薬剤師は持参薬鑑別の情報をもとに骨粗鬆症治療薬の使用状況を確認し、重複がある際は、パスによる活性型ビタミンＤ３製剤の処方削除を行っています。パス改定による大腿骨骨折患者における骨粗鬆症治療開始への貢献と薬剤師の関わりについて調査します。
調査データの該当期間	2022年6月から2026年4月まで
研究の方法 （使用する試料等）	2022年6月～2022年8月までの改定前のパス適応患者、2025年6月～2025年8月までの改定後のパス適応患者における骨粗鬆症治療薬使用状況を調査します。 2023年5月～2026年4月におけるパス適応患者における活性型ビタミンＤ３製剤の新規処方患者、その他骨粗鬆症治療薬新規処方患者、パス適応前からの骨粗鬆症治療薬が継続された患者の割合を調査し、大腿骨骨折後に骨粗鬆症治療薬の使用がある患者の割合を調査します。また、パス改定後に薬剤師が骨粗鬆症治療薬の重複処方削除に関与した事例を調査します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から、氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除した状態で取り扱われます。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 （利益相反）	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：0954-43-1120（代表） 担当者：管理課長
備考	